

# Club Sports Sus. Kit

クラブスポーツサス・キット No.MBP7970

## 取付・取扱説明書

**AutoExe**  
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8  
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ クラブスポーツサス・キット をお買い求めいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

### 適合車種 MAZDA3 (BP系)

#### 取付上の注意事項：⚠ 警告（人的には死亡または重傷、物的には重大な損害の発生する可能性のある場合。）

1. 適合車種以外への取付けは絶対に行わないでください。
2. 本製品の取付けは必ず1台分セットで行ってください。どちらか一方のみを取付けると車両バランスを崩し、重大な事故につながる恐れがあります。
3. 当製品の取付け作業に関しては、設備の整った専門工場で資格を持った整備士の方が行ってください。
4. 走行直後はエンジンやブレーキ周辺パーツが高温になります。作業中の火傷防止のため各部が完全に冷えたことを確認してから作業を行ってください。
5. 事故防止のため、ジャッキアップする際はリフトやリジットラックなどを用い、自動車メーカー指定の位置で確実に車両を固定してください。
6. スプリングコンプレッサー使用時は、コイルスプリングが傷付かないようウエス等を介して取付け、円周上を均一に圧縮してください。また、作業中の事故防止のため慎重に作業を行ってください。
7. ピストンロッドナットはスプリングコンプレッサーでコイルスプリングを圧縮した後に取外してください。コイルスプリングを圧縮する前にピストンロッドナットを取外すとコイルスプリングが飛出し、部品の破損および死傷事故につながる恐れがあります。
8. パーツリスト以外の部品を使用した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。指示のない箇所は、必ず当該車両の純正部品をご使用ください。
9. 製品の改造、加工は絶対に行わないでください。この事により発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。

#### 取付上の注意事項：⚠ 注意（人的には死亡または重傷、物的には重大な損害の発生する可能性のある場合。）

1. 本製品の取付けに際しては、本書とともにマツダ(株)発行の整備書を参考に作業を行ってください。
2. ハーネス、カブラーなどは破損・断線に注意しながら取外し、保管してください。
3. 一時的に取外す部品は、位置を誤って装着しないようマーキング等をしながら注意して取外してください。
4. ボルト・ナットの締付けは、本書（指示のない箇所については整備書）に記載の指定トルクで確実に締付けてください。

#### 取付け時の留意点 ※重要事項につき必ずご確認ください。

1. 再使用する部品に劣化が見られる場合は、必ず新品に交換してください。  
劣化したまま再使用すると、車高や乗り心地に問題が生じたり、異音が発生したりする原因となります。
2. 製品取付け後は、各調整機構部が完全に締付けられていることを必ず確認してください。
3. 製品取付け後は、車高ダウンに伴い各サスペンションアームの取付け角度が純正スプリング装着時と変化するため、ラバーブッシュが使用されているサスペンションジョイント部は、車両をリフトアップ状態で取付ボルト・ナットを一旦緩め、水平な地面に車両を接地させ車重(1G荷重)をかけた状態で整備書記載の規定トルクで本締めを行ってください。この作業を怠ると、車高が規定値まで下がらなったり、乗り心地が悪化したりするなどの不具合が発生する場合があります。
4. ショックアブソーバー本体、ブレーキホースやABSセンサーハーネスなどがタイヤや周辺部品に干渉しないかを、ステアリングの据え切りやサスペンションの伸縮を行って十分に確認してください。また、走行前にブレーキの制動力に異常がないかを必ず確認してください。
5. 製品取付け後は、スプリングが遊んでいないこと、最低地上高および灯火類の高さが保安基準に適合していることを必ず確認してください。
6. 製品取付け後は、整備書の指示に従ってヘッドライトオートレベリングシステム初期設定とヘッドライトエーミング調整を行ってください。
7. 360° ビュー・モニター付車に装着した場合、カメラのエーミング調整が必要となる場合があります。

#### オーバーホール・メンテナンス

1. 当製品はオーバーホールが可能です。長くご愛用いただくために、日常の点検と一定走行毎のオーバーホールによるメンテナンスをお勧めいたします。
2. 安全にご使用いただくために、取付け部の締付け具合、各部の損傷、オイル漏れの確認など、日常の点検を実施し、不具合が見つかった場合は速やかに販売店にご相談ください。
3. 調整ネジ部は錆びつき防止のため、定期的にクリーニングを行ってください。

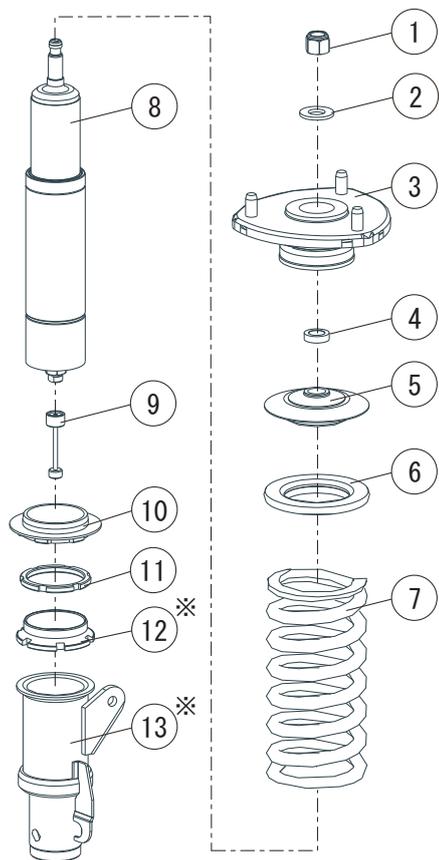
#### フロントスタビライザーコントロールリンク取付け時の留意事項 ※重要事項につき必ずご確認ください。

本製品の取付けに際しては、フロントスタビライザーのコントロールリンクは純正品を使用してください。もし、弊社製アジャスタブルスタビライザーリンクと同時装着する場合は、必ず純正品と同じ長さに調整してから取付けを行ってください。本製品取付けに伴う車高ダウン分のスタビライザー取付け角度ずれは、ショックアブソーバー側スタビリンク取付けブラケットの位置で補正済みです。

#### お客様へご使用上の注意事項

1. 長期に良いコンディションでお使いいただくため、ナラシ運転(急激な操作を避けた街乗り走行)を100km程度行ってください。
2. 適正なダウン量が得られるまで(車高が落ち着くまで)に多少の走行距離を要する場合があります。
3. 車高のダウン量は、取付けする車両の個体差や装備重量により、弊社公開の数値とは異なる場合があります。
4. 製品取付け後は車高が下がります。道路の段差や駐車場の縁石に車体下部(アンダーカバー/マフラーなど)が接触しやすくなりますので、運転には十分にご注意ください。
5. 製品取付け後は走行性能が変わります。クルマの動きに慣れるまでは十分に注意し、急激な操作を避けてください。
6. 道路運送車両の保安基準に合致させるため、最低地上高は90mm以上を必ず確保し、スプリングが遊ばない位置に各調整機構を設定してください。この条件を満たしていない場合は、整備不良として法律により処罰されますので、十分にご注意ください。
7. 本製品は、走行性能を向上させるため純正品と比較して乗り心地が変化したり、作動音(ショックアブソーバーのシュツシュツ音、キューキュー音、コトコト音)が発生したりする場合がございますが機能上問題ありません。

### 組立図 (フロント)

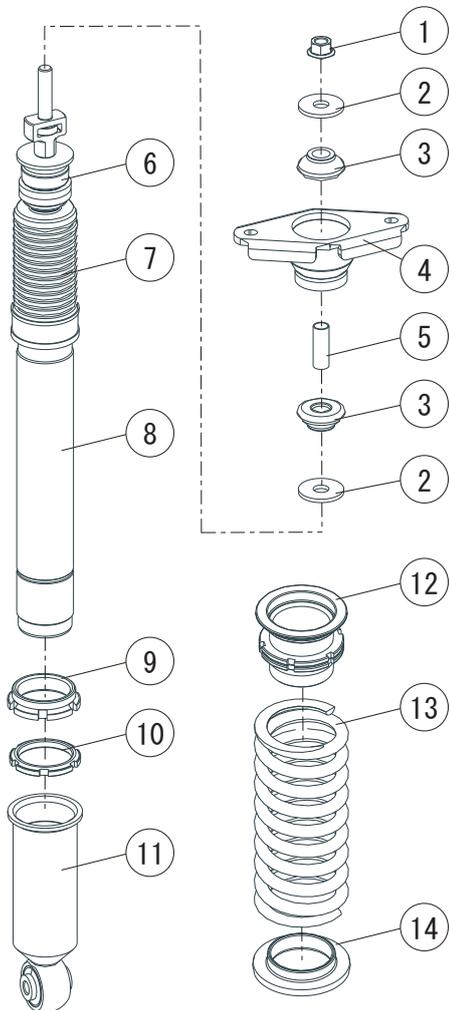


※⑫ケースロックナットと⑬アジャストケースは  
梱包時に締付けがされておりませんので、車両  
取付け後に寸法を合わせてから、規定トルクにて  
締付けを行って下さい。

### 構成部品 (フロント)

No.	部品名	仕様	数量
1	ナット	M14×1.5 ナイロン付 締付けトルク:70.0Nm	2
2	リテーナ		2
3	アッパーマウント	純正形状	2
4	カラー		2
5	アッパーシート		2
6	ベアリングシート		2
7	スプリング	内径Φ65 自由長180mm バネレート98.0N/mm	2
8	ショックアブソーバー	単筒ガス 減衰力24段調整式	2
9	延長減衰調整ノブ		2
10	ロアシート	アルミ製 レッドアルマイト仕上げ	2
11	ロックナット	アルミ製 レッドアルマイト仕上げ	2
12	ケースロックナット	ステンレス製	2
13	アジャストケース	スチール製	2

### 組立図 (リア)



### 構成部品 (リア)

No.	部品名	仕様	数量
1	ナット	M12×1.25 締付けトルク:29.4Nm	2
2	リテーナ		4
3	ブッシュ		4
4	アッパーマウント		2
5	スペーサ		2
6	バウンドストッパ		2
7	ダストブーツ		2
8	ショックアブソーバー	単筒ガス 減衰力24段調整式	2
9	ケースロックナット	ステンレス製	2
10	ケースロックナット	ステンレス製	2
11	アジャストケース	スチール製	2
12	ネジスペーサー	スチール製	2
13	スプリング	内径Φ65 自由長180mm バネレート68.6N/mm	2
14	ラバーシート		2

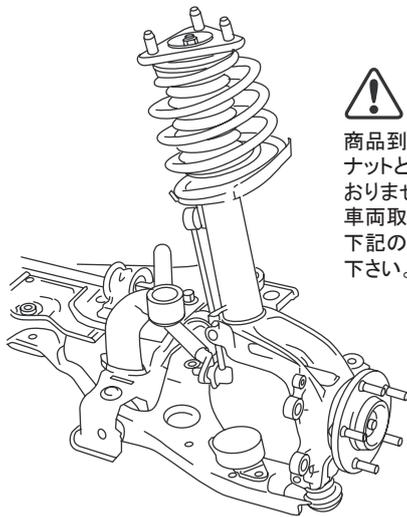
### 付属品

No.	部品名	仕様	数量
1	ロッキングレンチ		2

# サスペンションユニットの取付け

## ■フロント

- 整備書の指示に従い、純正ショックアブソーバー&コイルスプリングを取外します。
- 下表の組立寸法を参照し、取付けする車両に合わせてA部 および B部 の寸法を調整します。
- 純正ショックアブソーバーの復元と同様の手順で、クラブスポーツサス・キットを車両に取付けます。

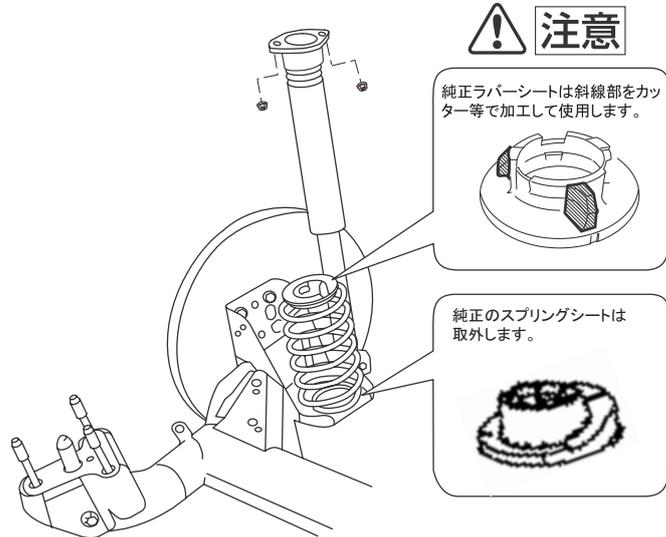


### ⚠ 注意

商品到着時、フロントのケースロックナットと、アジャストケースは締まっておりません。車両取付け後に寸法を合わせてから下記の規定トルクにて締付けを行って下さい。

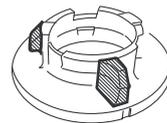
## ■リア

- 整備書の指示に従い、純正ショックアブソーバーとコイルスプリングを取外します。
- 下表の組立寸法を参照し、取付けする車両に合わせてA部 および B部 の寸法を調整します。
- 下記の注意事項に留意し、純正ショックアブソーバー ASSYと同様の手順で、クラブスポーツサス・キットを車両に取付けます。



### ⚠ 注意

純正ラバーシートは斜線部をカッター等で加工して使用します。

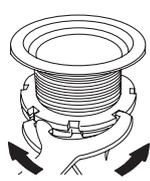
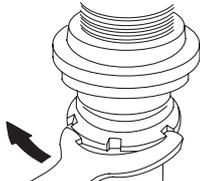


純正のスプリングシートは取外します。



## 車高調整方法

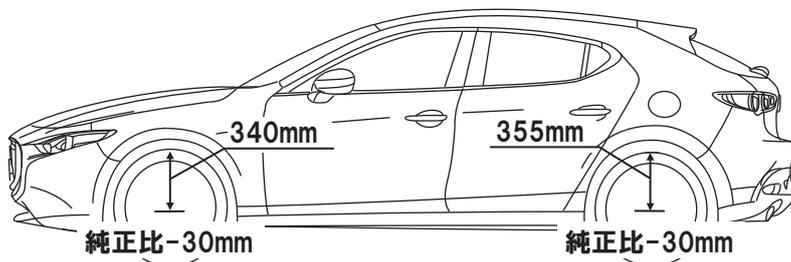
付属のロッキングレンチを使用して、ロックナットを緩めて調整します。調整後は確実に規定トルクで締付けしてください。



・ケースロックナット  
フロント締付トルク 78.4Nm  
リア締付トルク 39.2Nm

・ネジスペーサー  
締付トルク 29.4Nm

## 推奨車高 (2WD)



## 組立寸法 車高設定 (2WD)

フロント	装着グレード	A部寸法	B部寸法	車高ダウン量
	ファストバック X 2WD	82mm	145mm	20mm
	ファストバック XD 2WD		135mm	30mm ※推奨値
	セダン X 2WD		125mm	40mm
	セダン XD 2WD		140mm	20mm
	ファストバック 20S 2WD	87mm	130mm	30mm ※推奨値
	ファストバック 15S 2WD		120mm	40mm
セダン 20S 2WD				

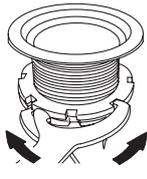
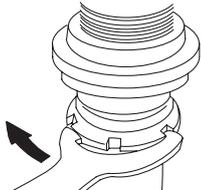
リア	装着グレード	A部寸法	B部寸法	車高ダウン量
		44mm	237mm	20mm
	2WD全車	36mm	224mm	30mm ※推奨値
		28mm	211mm	40mm

⚠ 注意 車高調整の際、B部寸法の範囲を必ず守ってください。範囲外に調整した場合、ご使用中にアジャストケースが緩み、ショックアブソーバーが車両から脱落するなど重大な事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意 ケースロックナットの締付けは指定の締付トルクで確実に行ってください。また本製品ご使用中は、定期的に各部の締付け状態を点検してください。走行中に各部が緩むとショックアブソーバーが車両から脱落するなど重大な事故につながる恐れがあります。

## 車高調整方法

付属のロックレンチを使用して、ロックナットを緩めて調整します。調整後は確実に規定トルクで締付けしてください。



・ケースロックナット

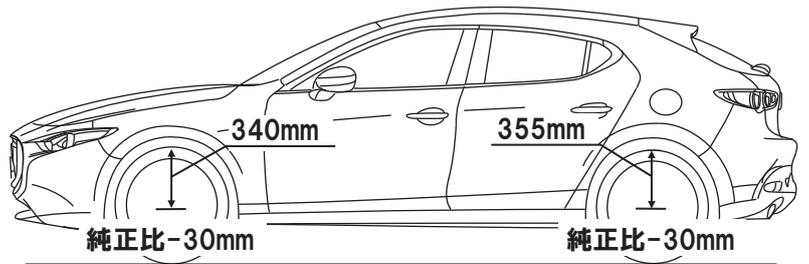
フロント締付トルク 78.4Nm

リア締付トルク 39.2Nm

・ネジスペーサー

締付トルク 29.4Nm

## 推奨車高 (4WD)



## 組立寸法 車高設定 (4WD)

フロント	装着グレード	A部寸法	B部寸法	車高ダウン量
	ファストバック X 4WD	82mm	145mm	20mm
	ファストバック XD 4WD		135mm	30mm ※推奨値
	セダン X 4WD		125mm	40mm
	セダン XD 4WD	87mm	140mm	20mm
	ファストバック 20S 4WD		130mm	30mm ※推奨値
	ファストバック 15S 4WD		120mm	40mm
セダン 20S 4WD				

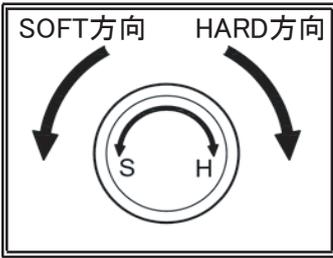
リア	装着グレード	A部寸法	B部寸法	車高ダウン量
		47mm	250mm	25mm
	4WD全車	44mm	237mm	30mm ※推奨値
		36mm	224mm	40mm

- ⚠ **注意** 車高調整の際、B部寸法の範囲を必ず守ってください。範囲外に調整した場合、ご使用中にアジャストケースが緩み、ショックアブソーバーが車両から脱落するなど重大な事故につながる恐れがあります。
- ⚠ **注意** ケースロックナットの締付けは指定の締付トルクで確実に行ってください。また本製品ご使用中は、定期的に各部の締付け状態を点検してください。走行中に各部が緩むとショックアブソーバーが車両から脱落するなど重大な事故につながる恐れがあります。

## 減衰調整方法

### ■減衰力24段調整

減衰力調整ノブをHARD方向に回し止まった位置が0段です。この位置が強い減衰力となり、SOFT方向に戻してクリックの回数が段数になります。



#### ⚠️ 注意

減衰力調整機構の構造上24段以上減衰力調整ノブが回転しますが、破損防止のため必ず24段以内で調整してください。

#### ⚠️ 注意

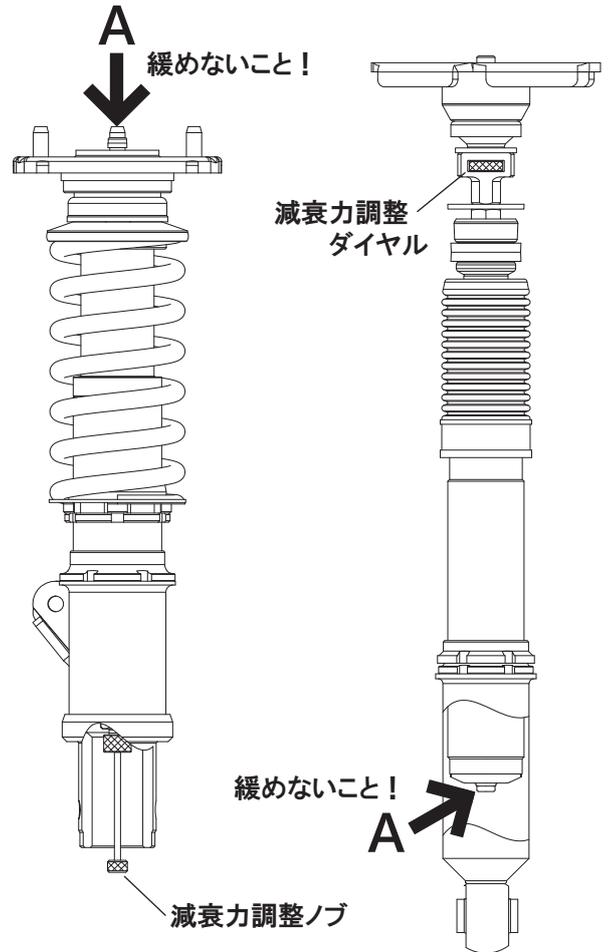
左右のショックアブソーバーの減衰力は必ず同じ段数で使用してください。これを怠ると右左折時車両の挙動に違いが出て、最悪の場合事故等につながる恐れがあります。

### ⚠️ 警告

絶対に緩めないで下さい！



右図 A部分に、上図形状のヘッド形状をしたボルトが組まれています。これは、ショックアブソーバー本体を分解および、組立をする際のガスの通路を密封するためのボルトです。本キットのショックアブソーバーには、非常に高圧のガスが封入されており、この部分を緩めると、重大な事故や、パーツの破損につながります。絶対に緩めないで下さい。



## セッティングデータ

### ■開発車両データ

車名	MAZDA3
型式	3DA-BP8P
グレード	XD L Package
ホイールサイズ 前	18X7.5J INSET 49
ホイールサイズ 後	18X7.5J INSET 49
タイヤ銘柄	BRIDGESTONE POTENZA Adrenalin RE004
タイヤサイズ 前	215/45R18
タイヤサイズ 後	215/45R18

### ■走行時データ

フロント	
減衰力段数	#12
トータルトーイン	1.0mm (0° 05')
キャンバー	-0° 45' (参考値)
キャスター	-
リア	
減衰力段数	#12
トータルトーイン	4.1mm (0° 22')
キャンバー	-1° 24' (参考値)